

第94回 獣医学セミナー

獣医学における リキッドバイオプシーの現状

上林聡之 先生
(獣医内科学)

2024年1月10日 (水) 16:00-17:00

iCOVER1階 101

哺乳類の体液中には細胞から放出された核酸やエクソソームなどが微量に含まれており、近年の解析技術の向上により、これらの解析が可能となっている。人医学領域では腫瘍を始めとする様々な疾患においてこのような物質が病態を反映することが明らかになり、リキッドバイオプシー（体液を用いた生検）と呼ばれ臨床応用が始まっている。獣医学領域においても応用が模索されているものの、基礎的なデータが不足している現状である。我々は山口大学動物医療センターに来院した犬を対象に、血漿中の無細胞DNA (cell-free DNA) について解析を行い、リンパ系腫瘍において濃度が増加し、予後と関連することを示した。本セミナーでは、獣医学領域におけるリキッドバイオプシーの現状および今後の展望について紹介する。

★飲み物・お菓子を用意しています！
教員・学生の積極的な参加をお願いします！★
連絡先：三宅（5913）、羽原（5885）

